

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

令和7年4月19日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスてくて

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			グループ人数と活動内容を考慮してスペースを確保してる	
	2	職員の配置数は適切である	8			公認心理師・臨床心理士を配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8			利用児の特性に配慮した環境調整を行っている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8			支援会議等にて、業務や支援内容を振り返り、目標設定・配慮事項等を職員間で共有している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			評価結果を把握し、改善を図っている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			会報で周知、結果を事業所に掲示したり、ファイルを設置し、いつでも閲覧できるようにしている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			8		今後必要に応じて検討していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			虐待防止・秘密保持の研修やステップアップのための研修、外部研修等、多様な研修の機会を確保している	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			保護者面談、行動観察、発達検査等の結果から心理士が総合的に利用児の特性や課題を見立て、計画を作成している	
適切な	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			WISC-V等の発達検査を必要に応じて実施している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			担当職員の打ち合わせにてプログラムを立案している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			グループや利用児の特性に応じて工夫している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			平日は個別療育と少人数グループ療育、長期休みは集団プログラムを取り入れ、様々な体験が積めるように支援している	

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8			利用児の特性や状況に応じて個別活動とグループ活動を組み合わせ、支援計画を作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			職員間の打ち合わせと個人ファイルにて確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			振り返りは毎回行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1		活動記録を毎回記入し、支援内容の改善を図っている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			6か月ごとに見直しを行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8			ガイドラインの基本活動を組み合わせている	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			適した職員が参画している	
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	1	児童発達支援センター、児童発達支援事業所等と情報共有を図っている	
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		2	必要に応じて適宜情報を提供している	該当するケースがなくても、より適切な環境で支援を受けることができるように、関係機関と連携し、情報共有を図っていく
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			適宜、連携を取り研修に参加している	
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	2		地域のイベント等に参加できる機会があれば検討していく
	25	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4	1	市の支援協議会に参加している	要請があればできる限り調整し、参加できるようにする
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			療育ごとに振り返りを行い、共通理解を図っている	
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8			個別やグループにてペアレントトレーニングを実施している	

保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時に説明している	
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		療育時に適宜行っているほか、発達相談や教育相談に個別で応じている	
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8		定期的に保護者同士の交流会、セミナー等を開催している	
	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		契約時に説明し、苦情に対して迅速に対応している	
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		毎月会報を配布している	
	33	個人情報に十分注意している	8		個人情報同意書を提示し、取扱いの説明を行っている	
	34	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		口頭説明と書面を用意している	
非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8		マニュアルを作成し、保護者に周知している	
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		防災訓練を行っている	
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		虐待防止委員会を設置し、研修を行っている	
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8		身体拘束適正化委員会を設置し、研修を行っている	
	39	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		事例集を作成し共有している	